

「子育て応援隊 ままはあと」の活動を見学しました。

山口県防府市のイオンタウン防府の空き店舗を借りて活動している「子育て応援隊 ままはあと」の活動を、2023年12月20日（水）に見学しました。



会場の目の前には、大きな駐車場があり、また防府駅からのシャトルバス乗降場のすぐそばにあることから、自家用車・公共交通機関ともに行きやすい場所です。

当日は、9家族、総勢約20名の保護者や乳幼児参加の下、定例活動「服やおもちゃの交換会」や「子育て相談」等に加えて、「クリスマス会」が開催されました。

10時の開始に合わせて、参加者は続々と会場入り。受付で工作用のグッズと飲み物を受け取り、各自用意したプレゼント交換用の包みをスタッフに預けた後は、お子さま用の服や子ども用品を見たり、お母さん同士で話をしたりして



クリスマス会の開始を待ちます。みんなが落ち着いたところを見計らって、代表の古村さんと松本さんがクリスマス会の始まりを告げます。そこから、子どもに大人気のエプロンシアターや紙芝居が行われ、静かにお話を聞いたり、一緒に歌を歌ったり飛び跳ねたりと、楽しい時間を過ごしました。そしてお楽しみのプレゼント交換では、何が当たるかドキドキしながら、受け取り、包みを開いては歓声が上がっていました。そしてもう一つのお楽しみ、ランチタイムには、ままはあとが準備したお弁当を囲み、お母さん同士も話が弾み、和やかな時間を過ごしていました。

クリスマス会終了後の定例活動では、いろいろなしかけや工夫がありました。まずは会場のレイアウト。入り口付近には、地元で活躍している子育て中のハンドメイド作家さんたちのかわいいグッズの委託販売コーナーが設置されています。雑貨店の店舗と思いついて来られた方は、活動を自然と知ることになり、口コミで利用者が増えることも。



この日も、初めて来られた妊婦さんや、出産を控えている方のお母さまがこれら活動を知っていただくことができました。二つ目の工夫は、服やおもちゃの交換の仕方です。「持ち込みについて-自分が貰って嬉しいものをお持ち込みください」や「持ち帰りについて-チケット制で上限 20 枚まで交換可。それ以上は 1 つ 10 円」「マタニティの方は 80cm サイズのみ 10 枚まで無料」などのルールが決められており、会場に掲示され周知されています。その他、子育てカウンセラーの資格を取得している松本さんが、お母さんのお悩み相談に乗っておられるなど、参加者が必要とされていることに主催者も楽しみながら取り組まれている様子を知ることができました。

この活動には、子育て経験のあるとても頼りになる先輩が、手伝いに来ておられます。イベント中、上のお子さんと一緒に過ごすお母さんに代わって乳児にミルクをあげたり、危険な箇所がないかお子さまの動きをそっと見守ったり、委託販売の接客をしておられました。「この取り組みに賛同し、彼女たちを支援したくて手伝っているのよ」と、笑顔で見守っておられる姿が印象的でした。

当日の参加者からは「SNS を見て知ったのが来始めたきっかけです」「義理の姉に誘われて参加しました。とても楽しいです」「子どもが保育園に行き始めたので、洋服はいくらあっても助かるので利用させてもらっています。とてもありがたいです」「みんなと話ができるのが楽しいです」などの感想を伺いました。

参加しやすい立地、楽しいイベント、必要とされる方にリーチできる SNS を駆使した広報活動など、子育て真っ最中のメンバー故の工夫が、随所にちりばめられていました。そして、一生懸命考えて思いを周囲に伝え取り組むと、やがて賛同者や理解者が現れ、思い描いていることが現実のものになることを実感しました。

(本郷)